



集落が点在する山間部の開けた谷筋で砂州や石礫をツルヨシが覆う河道を流下する瀬淵がみられる区間
(山地を流れる川)

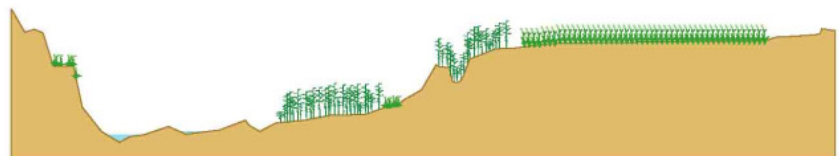
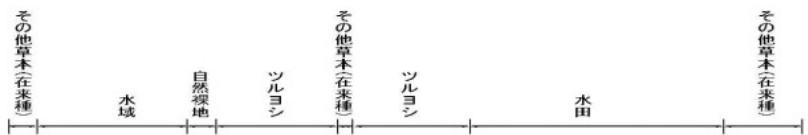
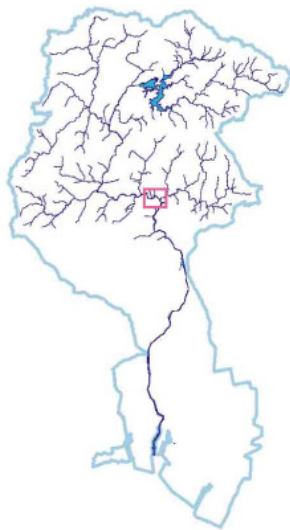
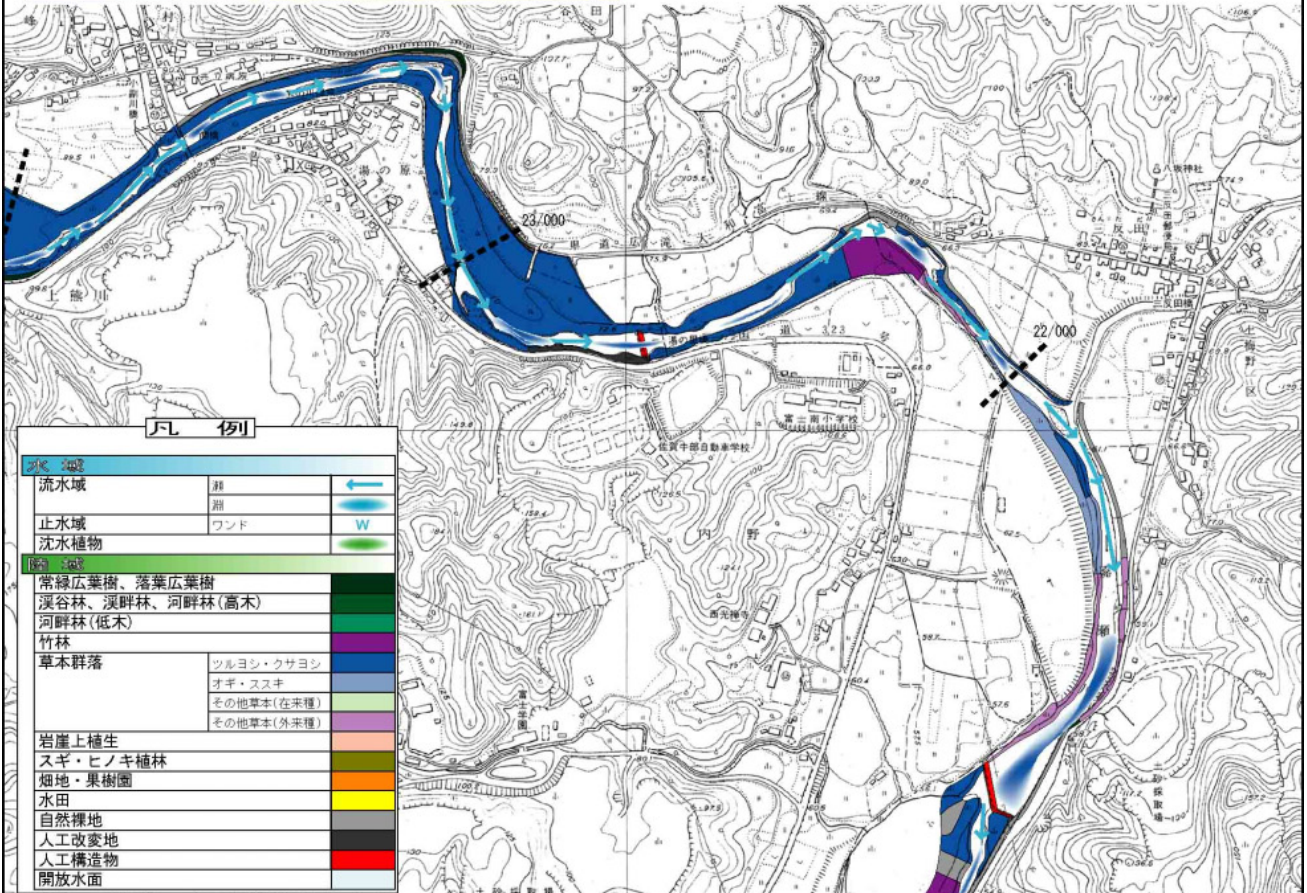


図4.1.7-10(3)
典型性(河川域)環境類型区分の一例



都市郊外の水田地帯の中で、グラウンドやゴルフ場等に利用されている河川敷を有する堰により制御された流れの緩やかな区間
(平野を流れる川)

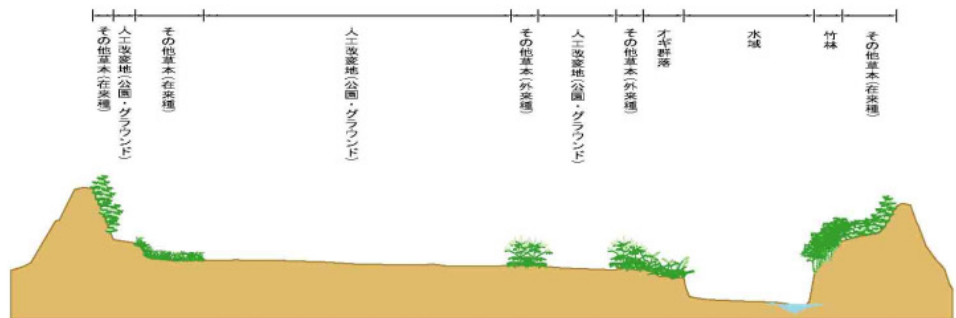
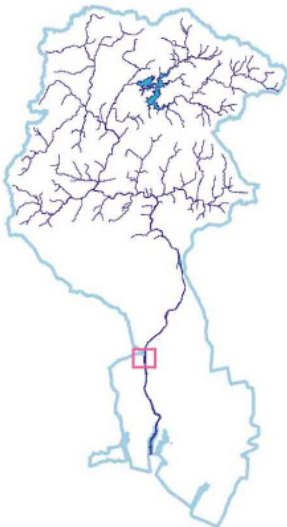
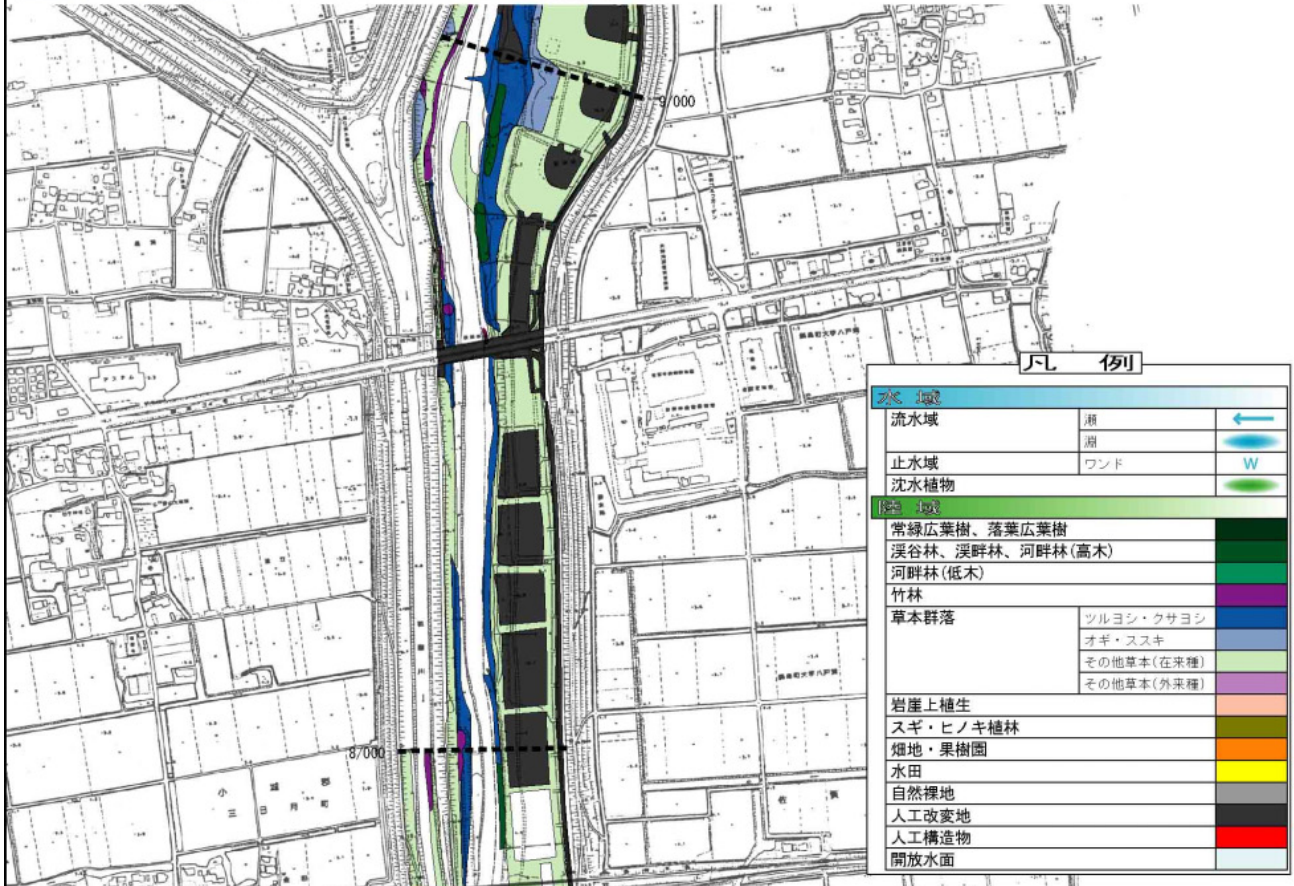
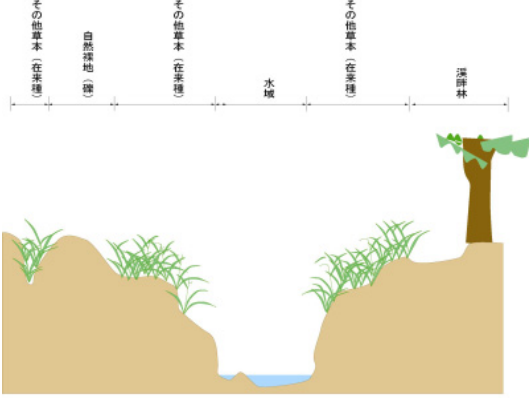
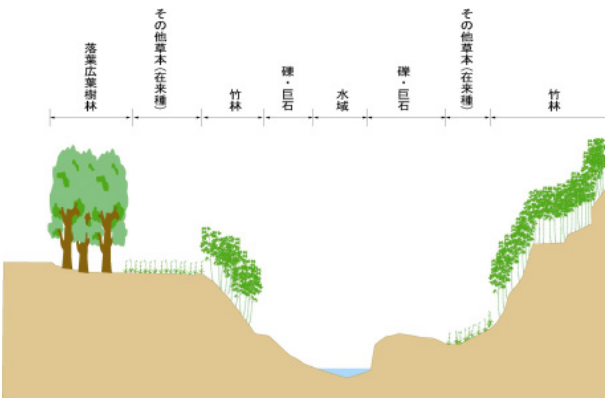
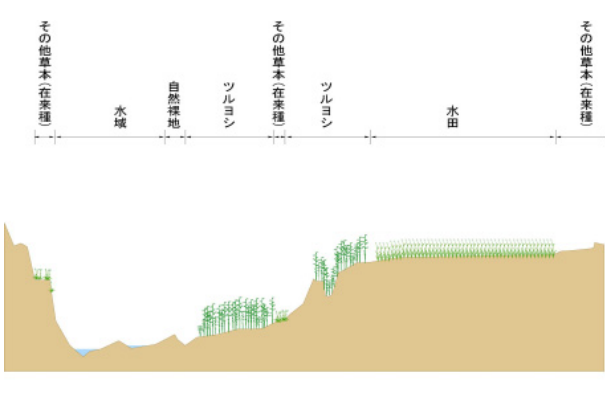
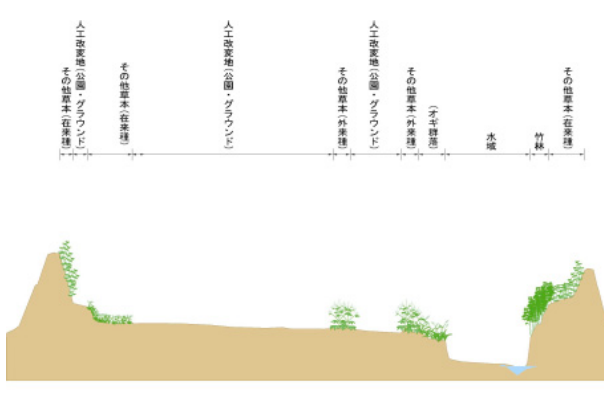


図4.1.7-10(4)
典型性(河川域)環境類型区分の一例

表 4.1.7-18 典型性(河川域)の概要

典型性(河川域)		シイ、タブ等の常緑広葉樹やメダケ等に覆われた山腹の沢筋で、連続する小滝を流れ落ちる区間 (源流的な川)	崖地や山腹に挟まれた渓谷状の地形で巨石や露岩が点在する河道を流下する瀬淵が連続する区間 (渓流的な川)	集落が点在する山間部の開けた谷筋で砂州や石礫をツルヨシが覆う河道を流下する瀬淵がみられる区間 (山地を流れる川)	都市郊外の水田地帯の中で、グラウンドやゴルフ場等に利用されている河川敷を有する堰により制御された流れの緩やかな区間 (平野を流れる川)
河川横断					
区間延長		嘉瀬川や神水川に流入する沢筋や浦川の上流部の約7.3kmの区間	嘉瀬川の新小関橋より上流、神水川の小ヶ倉橋より上流、浦川、大串川、栗並川、貝野川、天河川の約9.2kmの区間	嘉瀬川の新小関橋から畑瀬付近、古湯付近、雄淵雌淵より下流、神水川の小ヶ倉橋から嘉瀬川合流点までの約19.7kmの区間	嘉瀬川の川上頭首工付近から嘉瀬川大堰までの約11.8kmの区間
土地利用 景観等の概要		山腹の沢筋にみられ、階段状の小滝が連続し、上空を樹林が覆う環境である。	渓谷状の河道を、巨石や露岩をぬうように流下している。河岸にツルヨシがみられるが上空は概ね開いている環境である。	集落が点在する山間部の開けた谷筋でやや緩やかな河道内にツルヨシがみられる環境である。	都市郊外の水田地帯の中で大きく緩やかな滞筋、人為的に利用されている広い河川敷等により構成されている。
環 生 境 生 育	河川形態	AaI 型	AaII 型、Aa-Bb 移行型(主に AaII 型)	AaII 型、Aa-Bb 移行型(主に Aa-Bb 移行型)	Bb 型、Bb-Bc 移行型、Bc 型
	河川植生	樹林(シイ、タブ等の常緑広葉樹林)の中を通る、または接する。	ツルヨシ	ツルヨシ	人工裸地、イネ科草本
生 物 群 集	鳥類	ミソサザイ	-	オシドリ、ヤマセミ、カワガラス等	マガモ、ハクセキレイ、ツリスガラ等
	両生類	-	-	カジカガエル等	-
	魚類	タカハヤ等	タカハヤ、ドンコ等	カワムツ、カマツカ等	スナヤツメ、タナゴ類、カワヒガイ等
	底生動物	ニッポンヨコエビ、フタスジモンカゲロウ、オニヤンマ、オオヤマシマトビケラ、ムラサキトビケラ等	ナミヒラタカゲロウ、ウエノヒラタカゲロウ、スカシアマミカ等	E コカゲロウ、モンカゲロウ、キイロカワカゲロウ、アカマダラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ等	モノアラガイ、サホコカゲロウ、アオモンイトトンボ、ヒメゲンゴロウ等
典型性の特徴		河川規模は小さく、瀬とプールが連続した河道である。鳥類では、ミソサザイ等がみられる。魚類ではタカハヤがみられる程度と、魚類相が貧弱である。底生動物では、細流やプールの砂底や落ち葉が堆積する場所で生息するニッポンヨコエビ、フタスジモンカゲロウ、オニヤンマ、オオヤマシマトビケラ、ムラサキトビケラ等がみられる。	河川規模は小さいが、瀬淵が明瞭であり、早瀬は階段状である。魚類では、タカハヤ、ドンコ等が優占する魚類群集がみられる。また、底生動物では、上流域の早瀬の石礫上に生息するナミヒラタカゲロウ、ウエノヒラタカゲロウ、スカシアマミカ等がみられる。	水面幅は広がるが、瀬淵が明瞭であり、また、流れが緩やかなところは、河床が砂底である。鳥類では、オシドリ、ヤマセミ、カワガラス等がみられる。両生類では、カジカガエル等が見られる。魚類では、個体数で優占する種が上流ではタカハヤであったものがカワムツに変わり、また、中流域の砂底に生息するカマツカ等が見られる。底生動物では、砂底を好むキイロカワカゲロウ等、流れが緩やかなところを好むアカマダラカゲロウ等、安定した河床に巣を造る造網性のヒゲナガカワトビケラ等がみられる。	下流域で、流れがさらに緩やかになる。鳥類では、マガモ、ハクセキレイ、ツリスガラ等がみられる。魚類では、砂底に生息するスナヤツメ、産卵基質として二枚貝に依存するタナゴ類、カワヒガイ等がみられる。底生動物では、モノアラガイ等の止水域を好む種、サホコカゲロウ等の下流域で流れの緩やかなところを好む種がみられる。

注) - :該当する内容がないことを示す。